花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

新たな花粉症対策の展開

【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円の内数】

＜対策のポイント＞

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化や**スギ材の需要拡大**、**花粉の少ない苗木の生産拡大**、**林業の生産性向上及び労働力の確保**、**花粉の飛散量の予測**、**花粉飛散防止剤の早期実用化**への支援等を一体的に実施する総合的な花粉症対策を進めます。

＜事業目標＞

○　スギ苗木の年間生産量に占める花粉の少ない苗木の割合の増加　（約５割［令和３年度］　→　　９割以上［令和15年度まで］）

○　スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比　約２割削減［令和15年度まで］、５割削減［令和35年度まで］）

＜事業の内容＞

１．スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

花粉の少ない苗木への伐採・植替えに係る**森林所有者への普及啓発の実施・協力金**の交付、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業の導入等を支援します。

２．スギ材の需要拡大

横架材のスギ材への置換えに資する**集成材工場の整備**、**建築事業者によるスギ材の利用**、**スギ材の需要拡大**に向けた**国民運動**を促進する取組等を支援します。

３．花粉の少ない苗木の生産拡大

官民を挙げた苗木増産体制の強化、**細胞増殖技術**を活用した**苗木大量増産技術**の開発、花粉の少ない苗木の**広域流通**等を支援します。

４．林業の生産性向上及び労働力の確保

木材加工業者による**高性能林業機械の導入**による**生産性向上**や、農業等**他産業との連携や外国人材の新規就業者の育成・確保**、**伐採や造林への新規参入**等を支援します。

５．花粉飛散量の予測・飛散防止

花粉飛散予測に資するスギ雄花花芽調査や手法の開発、航空レーザ計測・解析の実施、**花粉飛散防止剤の空中散布技術**の確立等を支援します。

＜事業の流れ＞

国 → 定額、1/2 → 民間団体等（国立研究開発法人森林研究・整備機構含む）（１～５の事業の一部）

国 → 定額、1/2 → 都道府県（３、５の事業の一部）

国 → 定額、1/2等 → 都道府県等（林業労働力確保支援センター含む） → 定額、1/2等 → 民間団体等（市町村含む）（１～４の事業の一部）

※　国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ林所有者等への働きかけ

・伐採・植替えに対する協力金の交付
・事業体が行う、所有者に対するスギ林の植替えの働きかけ
・対策の効果的な実施に向けた調査、普及の取組等

<協力の働きかけ>

路網整備・低コスト造林

・伐採・植替えに寄与する路網の整備や、一貫作業等の低コスト再造林の推進

<路網の整備>

<低コスト造林>

花粉の少ない苗木の生産拡大

苗木の増産

・特定母樹等の穂から、原種苗木を増産する施設の整備

<原種増産施設>

・都道府県・認定特定増殖事業者による採種園・採穂園の造成・改良等

<閉鎖型採種園>

・花粉の少ない苗木増産に向けたコンテナ苗生産施設整備
・細胞増殖技術を用いて未熟種子から苗木を大量増産する技術の開発

広域流通

・苗木の生産量が多い産地から少ない地域への苗の供給調整

林業の生産性向上及び労働力の確保

生産性の向上

・木材加工業者等による高性能林業機械の導入
・林業機械の自動化・遠隔操作化技術の開発・実証
・伐採・植替えの効率化のためのデジタル林業戦略拠点の構築

労働力の確保

・農業等他産業との連携や外国人材等の新規就業者の育成・確保
・施業の適期の異なる地域間での労働調整
・伐採や造林への新規参入等

<新規就業者の育成>

スギ材の需要拡大

利用促進

・横架材等のスギ材への置換えに資する集成材工場等の整備

<スギJAS集成材>

・スギ材のJAS構造材等を利用した建築を行う事業者への支援
・スギ材の活用に向けた技術開発等

普及・啓発

・スギ材の需要拡大に向けた木材利用の意義等を国民に情報発信

花粉飛散量の予測・飛散防止

予測

・スギ雄花花芽調査の対象都道府県及び調査地点の拡大、花粉飛散予測の高度化に向けた航空レーザ計測・解析等の実施やドローンの活用等による着花量調査手法の開発

飛散防止

・飛散防止剤の早期実用化に向けた実証試験・環境影響調査

<花粉飛散防止剤により枯死した雄花>

［お問い合わせ先］林野庁計画課（03-6744-2082）